



2022年5月13日

各位

会社名 徳倉建設株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 徳倉 正晴  
 (コード：1892、名証メイン市場)  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 立花 眞昭  
 (TEL. 052-961-3271)

### 通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2022年2月10日に公表いたしました2022年3月期の連結・個別業績予想と、本日公表の決算値に差異が生じたのでお知らせいたします。

#### 記

#### ●業績予想値と実績値との差異について

##### 1. 2022年3月期 通期連結業績予想数値と実績値との差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	68,000	2,100	2,100	1,400	672円30銭
実績値 (B)	66,965	2,593	2,607	1,679	806円45銭
増減額 (B - A)	△1,034	493	507	279	
増減率 (%)	△1.5	23.5	24.2	20.0	
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	54,460	2,558	2,586	1,716	833円48銭

##### 2. 2022年3月期 通期個別業績予想数値と実績値との差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	42,000	1,200	900	432円19銭
実績値 (B)	41,487	1,503	1,034	496円69銭
増減額 (B - A)	△512	303	134	
増減率 (%)	△1.2	25.3	15.0	
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	34,234	2,082	1,524	732円66銭

##### 3. 業績予想との差異の理由

2022年3月期の連結・個別売上高につきましてはほぼ予定通りに進捗いたしました。連結・個別の営業利益、経常利益、当期純利益は、いずれも前回予想を上回りました。これらは主に個別決算で第4四半期に竣工した、官庁土木工事及びPFI等大型工事の最終設計変更金額が想定を上回り、工事利益率が改善したことによるものです。

以上